

# 第4回「原発事故被災地域における放射線量マッピングシステムの 技術開発・運用とデータ解析に関する研究会」

2017年1月10日 13:30～11日 16:50

京都大学原子炉実験所（大阪府泉南郡熊取町）

## 1月10日

13:30 開会挨拶

### 1. 現状報告（座長：斎藤 公明）

13:40～14:20 KURAMAの開発と展開の現状

谷垣 実（京都大学原子炉実験所）

14:20～14:50 ASURAを用いた放射性セシウム沈着量調査

後藤 淳（新潟大学研究推進機構アイソトープ総合センター）、高橋剛、遠藤良、  
天谷吉宏、菖蒲川由郷、吉田秀義、内藤眞

14:50～15:05 自動車走行サーベイシステムASURAによるホットスポットの位置推定

遠藤 良（新潟大学大学院自然科学研究科）、高橋剛、上林智徳、後藤淳、内藤眞

15:05～15:30 休憩

### 2. モニタリング活動の現状と今後の方向性（座長：谷垣 実）

15:30～16:00 福島事故初期時の空間線量率分布の推定

本田 文弥（茨城大学大学院理工学研究科）、木名瀬栄（茨大院 原子力機構）

16:00～16:15 （仮）福島県におけるマッピングの取り組み

木村 裕（福島県環境創造センター研究部）

16:15～16:45 福島における分布状況調査の最近の展開

斎藤 公明（日本原子力研究開発機構）

16:45～17:15 原子力災害対策指針と緊急時モニタリング

高橋 知之（京都大学原子炉実験所）

17:15 関空ジョイテルホテルへ移動

18:30 意見交換会

## 1月11日

### 3. 計測技術（座長：後藤 淳）

9:30～10:00 （仮）旧警戒区域・計画的避難区域の空間線量率の現状

小林 泰（東京電力ホールディングス(株)福島本部除染推進室）

10:00～10:30 NaIシンチレーションサーベイメータの照射線量率と校正定数の傾向

片寄 直人、佐間田 信雄（東京電力ホールディングス（株）福島本部除染推進室）

10:30～11:00 車両による遮蔽効果の測定と分析

大橋 敏明（東京電力ホールディングス株式会社）

11:00～11:10 休憩

4. 放射線計測関連の話題（座長：大橋 敏明）

11:10～11:40 除去土壌履歴管理支援システム等のご紹介

渡辺 明彦（国際航業(株)技術本部）

11:40～12:10 京都大学生存圏研究所における連携支援研究の紹介

上田 義勝、杉山 暁史（京都大学生存圏研究所）、徳田 陽明（滋賀大学教育学部）

二瓶 直登（東京大学大学院農学生命科学研究科）

伊藤 嘉昭（京都大学化学研究所）

12:10～13:10 昼食

5. 計測・評価手法（座長：水野 義之）

13:10～13:40 精度のよい環境中の線量測定手法の検討(1)測定

吉田 忠義（日本原子力研究開発機構）

13:40～14:10 精度のよい環境中の線量測定手法の検討(2)シミュレーション

津田 修一、吉田忠義、齋藤公明（日本原子力研究開発機構）

谷垣実、奥村良（京都大学原子炉実験所）

14:10～14:40 生活行動経路に沿ったKURAMA測定に基づく被ばく線量の推定

佐藤哲朗（株式会社 日立ソリューションズ東日本 公共ソリューション本部）

14:40～14:50 休憩

6. 環境放射線評価（座長：津田 修一）

14:50～15:20 PHITS（計算機シミュレーション）による長期汚染環境の空間線量率と放射能濃度測定値の再現

水野 義之、段塚祐子、村上友萌（京都女子大学 現代社会学部）

15:20～15:50 福島県内で測定された空間線量率のトレンドに関する考察

三枝 純（日本原子力研究開発機構福島研究開発部門）

15:50～16:20 （仮）路線バス等を用いた福島県空間線量率測定データの分析

武宮 博（日本原子力研究開発機構）

7.まとめ

16:20～16:50 総合討論

16:50 終了

※ 講演時間25分（一部発表は10分）＋質疑応答5分を目安